

【C年】

聖靈降臨後第二十三主日

特定二十八

主よ、どうか主の民の心を奮い立たせてください。わたしたちが喜びをもつてみ業にあざかり、その深い恵みによつて、み助けを受けることができますように、主イエス・キリストによつてお願ひいたします。アーメン

司祭

「聖書のみ言葉を聞きましよう」

会衆は着席する。

朗讀者
「旧約聖書はマラキ書第三章十三節から」

13あなたたちは、わたしにひどい言葉を語つてゐる、と主は言われる。
ところが、あなたたちは言う

14あなたたちは言つてゐる。「神に仕えることはむなし。たとえ、その戒めを守つても万軍の主の御前を喪に服している人のように歩いても何の益があろうか。」
15むしろ、我々は高慢な者を幸いと呼ぼう。かれらは悪事を行つても榮え神を試みても罰を免れているからだ。」
16そのとき、主を畏れ敬うたちが互いに語り合つた。かれらは耳を傾けて聞かれた。神の御前には、主を畏れ、その御前には記録の書が書き記された。
17わたしは備えているその日にと思う者のために記録の書が書き記された。
18そのとき、あなたたちはもう一度正しい人と神に逆らう人神に仕える者と仕えない者との区別を見るであろう。
19見よ、その日が来る炉のように燃える日が。

高慢な者、悪を行ふ者は

すべてわらのようになる。

到來するその日は、と万軍の主は言われる。
彼らを燃え上がらせ、根も枝も残さない。

しかし、わが名を畏れ敬うあなたたちには
義の太陽が昇る。

その翼にはいやす力がある。

見よ、わたしが
大いなる恐るべき主の日が来る前に
預言者エリヤをあなたたちに遣わす。

24 彼は父の心を子に
子の心を父に向けさせる。

わたしが来て、破滅をもつて
この地を擊つことがないようだ。

23 大いなる恐るべき主の日が来る前に
預言者エリヤをあなたたちに遣わす。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

世界よ、主に向かって喜びの声を上げ = 声を放ち賛美び

5 総琴を奏でて主をたたえ = その調べに合わせてほめよ

歌え
ラツパと角笛を吹き鳴らし = 王である主のみ前で喜

6 7 海とそこに満ちるものはどよめき = 世界とそこに住む者は歌え

川の流れは手を打ち鳴らし = 山々はともに主のみ前

9 8 9 神は世界を審きに来られる = 正義で世界を、公平で
すべての民を審かれる

使徒書はテサロニケの信徒への手紙Ⅱ第三章六節

使徒書

朗読者 「使徒書はテサロニケの信徒への手紙Ⅱ第三章六節

から」

6 兄弟たち、わたしたちは、わたしたちの主イエス・キリストの名によつて命じます。怠惰な生活をして、わたした

ちから受けた教えに従わないでいるすべての兄弟を避けなさい。7 あなたがた自身、わたしたちにどのように倣えればよいか、よく知っています。わたしたちは、そちらにいたと

詩編

第九八編 四九節

き、怠惰な生活をしませんでした。8 また、だれからもパンをただでもらつて食べたりはしませんでした。むしろ、だれにも負担をかけまいと、夜昼大変苦労して、働き続けたのです。9 援助を受ける権利がわたしたちに倣うように、身をもつて模範を示すためでした。¹⁰ 実際、あなたがたのもとにいたとき、わたしたちは、「働きたくない者は、食べてはならない」と命じていました。¹¹ ところが、聞くところによると、あなたがたの中には怠惰な生活をし、少しも働くかず、余計なことをしている者がいるということです。¹² そのような者たちに、わたしたちは主イエス・キリストに結ばれた者として命じ、勧めます。自分で得たパンを食べるようには、落ち着いて仕事をしなさい。¹³ そして、兄弟たち、あなたがたは、たゆまず善いことをしなさい。

朗読者

「使徒書を終わります」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」
司祭 「聖ルカによる福音書第二十一章五節以下に記され
た主イエス・キリストの福音」
「主に栄光がありますように」

5 ある人たちが、神殿が見事な石と奉納物で飾られていることを話していると、イエスは言われた。

6 「あなたがたはこれらの物に見とれているが、一つの石も崩されずに他の石の上に残ることのない日が来る。」

7 そこで、彼らはイエスに尋ねた。「先生、では、そのことはいつ起ころるのですか。また、そのことが起ころるときには、どんな徴があるのですか。」8 イエスは言われた。「惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名乗る者が大勢現れ、『わたしがそれだ』とか、『時が近づいた』とか言うが、ついて行つてはならない。9 戦争とか暴動のことを聞いても、おびえてはならない。こういうことがまず起ころるに決まっているが、世の終わりはすぐには来ないからである。」

10 そして更に、言われた。「民は民に、国は国に敵対して立ち上がる。¹¹ そして、大きな地震があり、方々に飢饉や疫病が起こり、恐ろしい現象や著しい徴が天に現れる。

12 しかし、これらのことすべて起こる前に、人々はあるたがたに手を下して迫害し、会堂や牢に引き渡し、わたしの名のために王や総督の前に引つ張つて行く。¹³ それはあなたがたにとつて証しをする機会となる。¹⁴ だから、前もつて弁明の準備をするまいと、心に決めなさい。¹⁵ どんな反対者

でも、対抗も反論もできないような言葉と知恵を、わたしがあなたがたに授けるからである。¹⁶ あなたがたは親、兄弟、¹⁷ 親族、友人にまで裏切られる。中には殺される者もいる。

また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人間に憎まれる。¹⁸ しかし、あなたがたの髪の毛の一一本も決してなくならない。¹⁹ 忍耐によつて、あなたがたは命をかち取りなさい。」

司祭
会衆
「主に感謝します」

「主に感謝する」